

平成29年度 第2回 上野原市総合教育会議

議事録

1. 日時及び場所：平成29年11月28日（火）午後1時30分から
上野原市役所 2階 庁議室

2. 出席者：委員
江口市長、和田教育長、
土屋職務代理、佐藤教育委員、白倉教育委員、富田教育委員
【事務局】
企画課（小澤、守屋、石井）
教育委員会（尾形、上原、安藤、織田、飯田）

3. 次第：1 開 会

2 市長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議 事
（1）市立西原小学校の適正配置について

（2）教職員の多忙化対策について

5 その他

6 閉 会

【司会 事務局：小澤企画課長】

1 開会

2 市長あいさつ【江口市長】

皆様、こんにちは。

今日は例年になく暖かく、朝方も車のフロントガラスが凍っていないかった。予報によると、11月上旬の気温となるそうです。

しかしながら、早いもので平成29年も間もなく師走をむかえ、残すところ一ヶ月あまりとなりました。例年この時期になると、やり残したことはないかと、何かにつけ慌ただしくなります。

このような中、本日は教育委員の皆様おかれましては、大変お忙しいなか、総合教育会議へご出席いただき、まことにありがとうございます。

さて、教育に関して、この一年の子どもたちを取り巻く環境を振り返ってみますと、茨城県取手市で、学校内のいじめやいじめを起因とした生徒の自殺、その後の教育委員会のいじめの有無や責任の所在などの判断における混乱した対応が報道されました。また、福井県池田町においては、先生による強い叱責が生徒を自殺に追い込んだと言われる事例も生じるなど、当市においてもいじめ防止対策推進法の確実な実行とリスク管理の必要性を強く実感しているところであります。

さらに、神奈川県座間市において、インターネットやSNSを介し自殺願望のあったとされる9名の若い人たちが短期間に連続して殺害された悲惨な事件が発生しました。殺害された被害者の中には、15歳の高校生が含まれていました。

家族や子どもたち自身も気付かぬうちに犯罪の被害者とならないよう、学校、家庭、地域、そして行政が一体となり、スマホの正しい使い方やルール、SNSの安全な利用方法をしっかり教えるなど、対策に取り組んで行く必要があると痛感しています。

本日は、少子化が進む中で、地元の皆様から声の上がった西原小学校の適正配置と、政府が進める働き方改革の中で、隠れブラック企業と言われる学校現場での教職員の多忙化対策について意見交換を行いたいと思います。

教育委員の皆様には、教育施策をはじめとした各種施策の確実な推進に向けて、なお一層のご支援ご協力ををいただきますよう、改めてお願い申し上げまして、一言開会にあたっての挨拶といたします。どうぞ、よろしく願いいたします。

3 教育長あいさつ【和田教育長】

皆様こんにちは。

江口市長におかれましては、年末に向け大変お忙しい中、総合教育会議の開催をいただき、誠にありがとうございます。

さて、教育委員会におきましては、本教育会議において、協議、調整させていただく中で、教育施策を推進しているところではありますが、特に、今年度におきましては、市教育大綱、教育振興基本計画に基づき、次期学習指導要領を見据えた「児童生徒の英語力の向上」に向けた英語検定料助成事業や、小中学校の環境整備を図る空調整備事業、また、安全・安心なこどもの居場所づくりのための放課後子ども教室等、昨今の教育課題を踏まえた各種事業の実施に努めてきたところでもあります。

本日は、只今、江口市長のご挨拶にありましたように、西原小学校の適正配置、また、教員の多忙化対策についてご協議いただくわけではありますが、こうした機会を通じ協議できますことは、魅力ある教育環境づくりを推進する上において、より実効性が高められるものと改めて感謝申し上げます。

江口市長には、公務多忙の折、くれぐれもご自愛いただきますとともに、今後におきましても、教育委員会とともに、更なる当市の教育施策の推進にご尽力賜りますようお願い申し上げます。本日は、よろしくようお願い申し上げます。

4 議事

【事務局：小澤企画課長】

要綱の規定により、進行を江口市長にお願いする。

(1) 市立西原小学校の適正配置について

【議長：江口市長】

それでは、議事を進めて参ります。

はじめに「市立西原小学校の適正配置について」を議題とします。

これまでの経過、方針案、今後の予定等について、事務局に説明を求めます。

【 安藤教育総務担当リーダーより説明 】

【議長：江口市長】

ただいまの担当からの説明を踏まえて、教育委員の皆様からご意見等をいただきましたと思います。

【議長：江口市長】

西原小学校の適正規模・適正配置に関する方針でもっとも大事なものは、集団生活の中で、切磋琢磨しながら人間性、社会性、協調性が培われる一番大切な小学生の期間を多くの人間関係の中で過ごすということと私は考えるので、単に1学年2学級を目安にするのではなく、さきに述べた部分を強調した内容にしていきたい。また、「再編成を行うこと」とあるが、西原小学校を閉校し、上野原小学校と統合

するのであれば、「閉校」ということを明確にさせていただきたい。

【土屋職務代理】

桐原中学校の統合の際に感じたことは、やはり子どもさん、親御さんの不安が大きいということです。今回の西原小学校の再編成につきましても、新しい環境、学校生活となるので、子どもさんや親御さんには心配なこと、不安に思うことが多いと思いますので、それらをいかにケアしていけるかが、重要と考えます。

当時の中学生に話を聞いたところ、学校生活に慣れるまでは、いろいろ思うところはあったようですが、人間関係においては、今まで会ったことのない友達（いろいろな友達）と出会えるのが楽しいとのことでした。これらを考えると、再編成に向けて、より多くの話し合いをもち、子どもたちの気持ちを受け止めていくことが重要と考えます。

聴聞会に参加し感じたことは、地元の方々と移住者の方々と温度差があるということ。また、桐原中学校統合の際と大きく違うのは、（元々の）地元の方々が、ぜひ上野原小学校と統合したいと申し出ているところではないかと思えます。

【議長：江口市長】

平成31年の4月までに西原小学校と上野原小学校間で交流会等を実施し、円滑に再編成が実施できるよう配慮していただきたい。また、西原小学校で実施していた特色ある教育を引き継いでいくとのことですが、環境も児童数も違うなかで、どれだけ整合性が図れるのか不安な部分もあるので、表現を柔らかくすることを検討していただきたい。

【佐藤教育委員】

土屋委員より話がありましたが、聴聞会において、移住者の方々、主にこれから小学校にあがる子どもを持つ親御さんからは、当面西原小学校を残してほしいとの話があったが、現在小学校に通う子どもさんを持つ親御さん、地域の方々の意見を重視し、再編成の方向となったことには、私自身は賛成です。

移住者の方々については、特色ある教育を学校から地域におきかえ、西原であらたな地域づくりをし、子どもたちの帰った後の居場所づくりや子どもから高齢者までが共存でき、地域になじみ、地域を育てて行ければよいと思うので、これから地域全体でこういったことを考えて行ければと期待しています。

4日には、こういった講演もあるということで、参加したいと思えますが、こういった考えがあれば、適正配置もマイナスではないと思えます。

やはり、子どもが成長するうえで、ある程度多くの集団の中で、学校生活を過ごすことは必要であると考えます。

【議長：江口市長】

その他にご意見等なければ、適正配置に関する方針については、一部修正等を行ない、提案のとおりとすることによろしいでしょうか。

【一同】

よろしいと思います。

【議長：江口市長】

次に「教職員の多忙化対策について」を議題とします。施策の背景、取り組みへ考え方、今後の予定等について、事務局に説明を求めます。

【 安藤教育総務担当リーダーより説明 】

【議長：江口市長】

平成26年から教職員の多忙化に関するさまざまなデータがあるが、平成26年から平成29年にかけて、多忙化は改善傾向にあるのか、悪化しているのか、検証されているか。

【上原学校教育課長】

県は調査結果等を受け、本年3月に改善計画を策定しました。それに伴い、各市町村においても、改善計画を策定し、取り組みを行っているところであります。

【議長：江口市長】

では、当市における改善計画の進捗状況等については把握等出来ているのか。

【上原学校教育課長】

当市での改善計画の進捗状況等については、10月に制定いたしました「上野原市教員の多忙化対策推進委員会設置要綱」に基づき、年明け1月に開かれる同委員会において、各学校より報告等を行う予定となっております。教育委員会では、その進捗状況等を受け、検討を進めて行く予定となっております。

【佐藤教育委員】

私が現役で教師をやっている頃は、部活動にも力を入れていました。学校では、もちろん勉強が大切であります。部活動を通じ、人としての成長もおおいに期待できると私自身は感じております。部活動に時間が割かれているというよりは、学校内での組織的なもの、教材研究や学習スタイルの変化等により、職員が多忙となっているのではないかと思います。

【土屋職務代理】

佐藤委員がおっしゃったとおり、部活動を通して、生徒との人間関係は非常に形成しやすいと思います。私が教師をやっている頃には、注意事項や練習スケジュール等を渡し、顧問不在でも生徒たちが自主的運営という形で部活動を行っていましたが、最近では危機管理、安全管理の問題で、部活動には顧問の先生が基本出るようになってきているため、やはり時間的な余裕がなくなっているのだと思います。こうし

た時間の制限や、自分自身が経験のない部活動の顧問をやる事によるストレスなど、非常に大変な思いをしている教師の方が多いのだと思います。

【議長：江口市長】

多忙化には、大きく分けて2つの要因があります。一つは、部活動におけるもの。もう一つは、学校内で発生するさまざまなものに対応しなければならないこと、また、新しい科目等に対応する準備等、学校内における諸活動によるものと考えられます。これらを踏まえ、改善計画が策定されていると思いますが、教育長から一言いただけますか。

【和田教育長】

文科省および県は、平成26年度よりアンケート調査を実施するなどしてきました。県においては、これまで計画自体はありませんでしたが、会議の5%縮小化などの取り組みを実施しました。そして昨年3月に、教員の多忙化改善に向けた取組方針を策定し、各関係機関とともに計画を実施しているところであります。本市としましても、職員の負担を軽減できるような人員配置等を市長の理解を得ながら予算組みし、県や国へも要望をしていっているところであります。また、中学校の部活動の顧問については、外部人材の活用を、さらに「きずなの日」については、現在の月1回から月2回とすることなども検討しているところです。

【議長：江口市長】

改善計画について2点ほどお願いがあります。一つは、目標数値（総合戦略でいう「KPI（重要業績指標）」）をしっかりと定め、検証・見直し等を行ないながら、目標数値を達成してほしいということ。次に、「きずなの日」を各学校において、どれだけ実施したかの結果の取りまとめを報告していただきたい。

また、中学校の部活動指導員任用事業では、各学校1回1年度限りということであるが、これでは改善とは言えないと思われるので、市として今後の対策をどう考えているのか、英語検定の補助等もあるが、学力の向上を目指すのか、学校での事務負担の軽減を実施するのか、教育委員会の考えをお願いしたいと思います。

【上原学校教育課長】

部活動指導員任用事業については、平成31年度以降実施する場合は、市の単独事業となるため、財政面等も慎重に検討する必要があると考えます。また、学校内の職員の多忙化、負担感については、学校と行政だけでなく、家庭や地域の理解を得ながら改善していかななくてはならないと認識しております。

【議長：江口市長】

白倉委員や富田委員はどのように考えているのか、よろしければお願いします。

【白倉教育委員】

先生たちの多忙化対策については、何がベストかをよく検討していく必要があると思います。これが、子どもたちの学力の低下を防ぎ、学力向上に繋がるとよいと思

いますので、微力ながら皆さんとともに考えていきたい。

【富田教育委員】

先生が一番大切な仕事は、子どもたちに実のある授業をすることだと思いますので、さまざまな負担となる作業等を軽減できるような体制づくりを検討する必要があると思います。また、ニュース等で拝見しましたが、部活動の指導者については、やはり外部人材の活用を可能な限り実施し、先生方の負担軽減としている学校が多いようなので、取り入れていければと思います。

【議長：江口市長】

皆さんの意見等をまとめると、学校内での事務作業の削減、部活動顧問の外部人材の活用を検討し、改善計画を実施することがよろしいかと思います。市の財政面での課題もありますが、企画課ともよく相談し、必要な予算であれば、粘り強く交渉していってほしいと思います。

教育は、国にとっての人づくりであると思います。世界に置いて行かれないためにも、教育環境の充実は必要不可欠であると考えます。必要な予算措置であれば、相談し、よりよい方向に進めていただきたいと思います。

【議長：江口市長】

では、教職員の多忙化対策については、以上でよろしいでしょうか。

意見や要望等を踏まえて調整の方よろしくをお願いします。

以上で予定しておりました議事については、終了となります。

これで議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

5 その他

【江口市長】

スマホの正しい使い方、ルール等の指導がどのようになっているのか、現状を教えてください。また、指導により使用時間の短縮等の成果がわかれば併せてお願いします。

【上原学校教育課長】

各学校において、先生や専門員による指導等を実施している状況ですが、成果の詳細等は、今後の調査等の集計により、取りまとめ等を検討してまいりたいと思います。

6 閉会

以 上